



宮城県経営者協会登米支部との意見交換を実施しました

地方振興部

令和3年11月30日(火)にホテルサンシャイン佐沼において、(一社)宮城県経営者協会登米支部との情報交換会が開催されました。

この情報交換会は、登米地域経済を担う経営者と県が意見交換を行うことを目的に平成29年度から開催され、今年で4回目となります。

当日は登米管内県機関及び経営者協会登米支部

会員のほか、県議会議員、宮城県経営者協会専務理事を含む計49名が出席し、県の事業内容や新型コロナウイルスの対応等について意見を交わしました。

県では引き続き、管内事業者との積極的な情報交換を行ってまいります。



意見交換の様子①



意見交換の様子②

公式SNS「ほっとめーしょん」が1周年を迎えました

地方振興部

令和3年11月11日(木)で県の登米地域公式SNS「ほっとめーしょん」が開設から1周年を迎えました。

1周年を記念して、令和4年1月11日(火)までInstagramにおいて感謝祭を開催しています。感謝祭では、本イベントオリジナルの木工芸品1,000円相当が抽選で50名様に当たります。

【応募方法】

- ①アカウント(@miyagi_hot_tome)をフォロー
- ②登米市内で写真を撮影(食べ物, 風景など何でもOK)
- ③「#ほっとめーしょん」及び「#ほっとめーしょん1周年」を付けて投稿

今後も、登米のほっとな魅力情報を発信していきますので、いいね!やフォローをお願いいたします。



↑公式Instagram
にリンクします



景品イメージ

女性農業者活躍支援研修会を開催しました！

農業振興部

農業振興部では、令和3年11月19日（金）にアルテラスおおあみにあるタウンネットCafeにおいて、先輩農業者から農業や農家生活等を学ぶ「第3回女性農業者活躍支援研修会」を開催しました。

研修では、とめ女性支援センターの足立所長から女性の社会参画へのポイントや、先輩方から家族経営協定を結び農業を歩んできた経過、社会参加に向けた家族の協力、夫婦円満の秘訣など様々な経験が紹介され、世代や業種を超え、女性の社会参画に向

けた悩みや不安を皆で話し合う機会となりました。また、パンや惣菜、菓子店など、様々な起業を目指す若手女性も参加し、参加した農業者が育てた「クウシンサイ」「きゅうり」「りんご」を使った料理が提供され、思いもよらない料理や素材の多様性などに話題が盛り上がりました。農業者と実需者の交流にもつながり、地域で活躍する女性のネットワークが広がりました。



研修会の様子①



研修会の様子②

第12回全国和牛能力共進会に向けて

東部家畜保健衛生所

令和3年12月6日（月）、JAみやぎ登米南方集出荷場で、令和4年10月に開催される第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会（以下「全共」）に向けた若雌牛11頭の斡旋会が行われました。

今回引き渡された雌牛は、雌牛の姿・形という体型の良さに加え、群としての斉一性などの地域和牛改良の成果を審査する「第6区総合評価群※（種牛の部）」への出品候補牛になります。

当日は登米和牛育種組合事務局と全共出品指導員により、牛毎に体型などを再確認し、今後の改善ポイントなどの指導が行われました。ここから牛を引き受ける方々の手で、全共日本一を目指した飼養管理や調教

が始まるため、皆さん熱心に指導員のアドバイスに聞き入っていました。

今後、巡回調査や集合審査会、地域選抜会などを経て、登米市の代表牛が決定され、その後、県最終選考会にて全共出品牛が選出されます。

前年平成29年の宮城大会を上回る成績を目指して、生産者、関係団体が一丸となって出品対策に取り組んでいます。

※：第6区総合評価群は「種牛能力（牛の姿形等）」と「産肉能力（枝肉成績等）」を総合評価する出品区で、同一種雄牛の産子を種牛群（4頭）と肉牛群（3頭）合わせて1群として出品されます。



みやぎ県北高速幹線道路Ⅲ期（佐沼工区）が開通しました

東部土木事務所登米地域事務所

みやぎ県北高速幹線道路は、東北自動車道と三陸自動車道を結び、県北地域の広域連携を強化し、東日本大震災からの復興支援道路としての役割も担う地域高規格道路です。

第Ⅲ期（佐沼工区3.6km）は、佐沼ICから佐沼北交差点までの区間を、平成25年度から整備を進め、令和3年12月17日に供用を開始しました。

この度の供用により、沿岸部と内陸部を結び広域道路ネットワークが形成され、登米市の市街地の交通渋滞の緩和や、地域産業の振興、観光交流の活性化、救急医療活動への支援が図られるとともに、本県の復興にも大いに寄与することが期待されます。



事業進捗状況

区間	国 道 4 号	Ⅳ 期 (仮称)栗原IC	Ⅳ 期 築館東IC	Ⅰ 期 伊豆沼IC	Ⅰ 期 若柳IC	Ⅰ 期 泊町北方	Ⅰ 期 泊町舟橋	Ⅲ 期 佐沼IC	Ⅱ 期 中田IC	Ⅱ 期 主要地方道 中田栗駒線	登 米 IC
[km]	0.4	1.3	2.7	4.2	2.0	約4.0	3.6	2.1	2.6	0.5	
計画路線	H6.12.16										
計画区間	—							H8.8.30			
整備区間	H25.5.16		H7.4.28			H25.5.16		H23.11.21		—	
開通状況	R元.6.9		H23.11.24			H23.6.28		H30.12.25		—	

※(仮称)栗原ICの連結許可:H30.8.10

- ◎登米市 ⇄ 栗原市
31分 → 23分 = **8分短縮**
- ◎登米市 ⇄ 南三陸町
38分 → 29分 = **9分短縮**
- ◎登米市 ⇄ 石巻市
60分 → 43分 = **17分短縮**
- ◎登米市 ⇄ 仙台市
90分 → 82分 = **8分短縮**

宮城県北の都市間連携が強化され様々な分野への波及効果が期待できる



テープカット・くす玉開披



開通パレードの様子



令和元年東日本台風（台風19号）災害復旧の完了

東部土木事務所登米地域事務所

今年11月末で全ての被災箇所の復旧が完了しました。

令和元年10月11日から13日にかけての台風19号により宮城県は大きな被災を受けました。

そのうち当所では38件（単災除く）の災害査定を受け、令和3年11月末に全ての現場が完成しました。入札不調が続いた現場もあり一時は今年度の完成も危ぶまれましたが、所内職員一丸となって取り組むとともに、地域住民や利用者の皆様のご協力をいただきながら災害復旧を完成することが出来ました。

工事期間中は、通行止めや入場制限などのため

に地元住民や利用者の皆様に大変迷惑をおかけしましたが、全ての災害復旧が完成した事により普段の生活に戻っていただけました。

今後は道路・河川・砂防等の管理を密に行い、普段からのパトロール等により危険箇所を再度確認して行くとともに、各事業の推進により地元住民の皆様の安全安心な生活環境の保持に努めて参ります。改めて地元住民及び利用者の皆様には工事へのご理解と長期間のご不便や規制へのご協力ありがとうございました。

【概要】

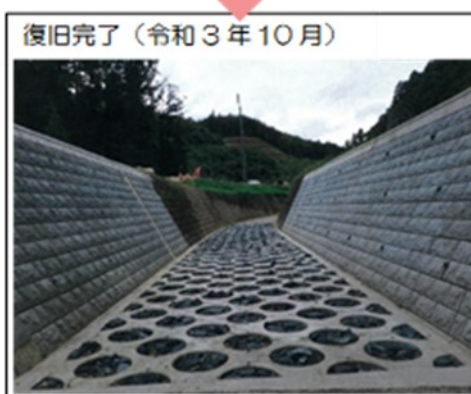
※単災についても9件全てR2に完成

	工種	査定決定 件数	現場完成件数			完成率
			R2	R3	計	
東部土木事務所	計	38	15	23	38	100%
登米地域事務所	河川	29	11	18	29	100%
	砂防	5	2	3	5	100%
	道路(橋梁含む)	4	2	2	4	100%

羽沢川（河川災）

石貝川（砂防災）

南沢川（道路災）



豊里大橋耐震補強工事の完了

東部土木事務所登米地域事務所

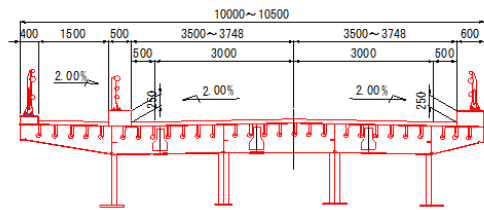
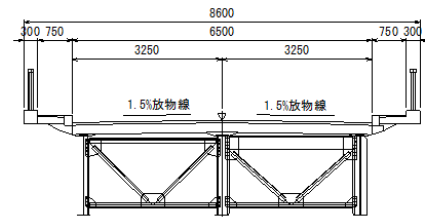


豊里大橋 令和3年11月

豊里大橋は主要地方道河南米山線で登米市と石巻市境の旧北上川を渡河する橋梁です。今から70年以上前の昭和25年4月に木造の豊里大橋が架設され、昭和46年3月には現在の豊里大橋が完成しました。

昭和53年の宮城県沖地震や平成23年の東北地方太平洋沖地震などの大地震を乗り越えてきましたが、橋桁の錆や床版コンクリートの劣化など老朽化が著しいことと、河南米山線は二次緊急輸送路にも指定される重要な路線であり、大地震時に落橋に到らないよう橋脚等の耐震補強工事が必要であることから、平成29年度に橋脚補強、平成30年度に上部工の架換え工事を開始しました。

上部工の架け替えに合せ、両側に狭い歩道が設置されていたものを下流側に集約し1.5mの歩道を確保しました。また、車道幅も広がり、より



快適に走行できるようになりました。

工事期間中は終日片側交互通行規制及び総重量が14トンを超える車両の通行規制となり、地元住民や道路利用者の皆様に大変ご迷惑をおかけいたしました。橋梁及び前後の舗装工事が完了したことにより令和3年12月10日（金）に全ての規制を解除いたしました。

今後は橋梁前後の仕上げ工事や、施工ヤードとして一部使用していた河川内のパークゴルフ場の復旧など年度末まで工事を行って参ります。

地元住民及び道路利用者の皆様には工事へのご理解及び長期間の交通規制へのご協力ありがとうございました。



上部工架け替え前



上部工架け替え後

令和3年度多面的機能支払交付金に係る研修会について

農業農村整備部

令和3年11月19日（金）に、登米市津山町柳津幣崎地内で令和3年度多面的機能支払交付金に係る研修会を開催しました。本研修会は、近年、多面的機能支払交付金事業に係る草刈作業中の事故が多発していることから、安全管理などの啓発を目的とし開催したもので、土地改良区職員や活動組織の組合員など30名が研修会に参加しました。

まず、草刈機械の安全な使い方について、草刈機械などの販売を行っている宮城マッカラーの三王氏からご説明をいただきました。実演を交えながらの説明により、参加者は草刈機の取り扱い方について、理解を深めた様子でした。

次に、ラジコン草刈機の実演として、(株)アテックス社のハイブリットラジコン草刈機「神刈」の紹介がありました。このラジコン草刈機は、法面のような傾斜地でも作業が可能であり、交付金活動における草刈作業の負担軽減に繋がります。また、操作もコントローラー1台ととても簡単なので、普段農作業に携わらない人でも操作が容易にできます。参加した活動組織の組合員も実際に操作体験し、利便性を体感していました。

当部では、今後もこのような研修会などによる安全管理の啓発活動をとおして、農作業の安全安心の確保に努めていきます。



宮城マッカラーによる実演



参加者による操作演習



(株)アテックスによるラジコン草刈機「神刈」の説明
(奥に見えるのがラジコン草刈機)



ラジコン草刈機「神刈」の実演

令和4年1月発行/宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所（地方振興部）
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5
TEL:0220-22-6123 FAX:0220-22-7522